

Title	プロフェッショナル組織のマネジメント - わが国の病院組織運営の分析を中心として -
Sub Title	
Author	山根, 節(Yamane, Takashi) 関本昌秀
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1981
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001981-0176">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001981-0176</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 山 根 節

主査 関 本 昌 秀 教授

副査 石 田 英 夫 教授

奥 村 昭 博 助教授

所属ゼミナール 関 本 昌 秀 研

## プロフェッショナル組織のマネジメント — わが国の病院組織運営の分析を中心として —

これからのわが国の長期的な展望を考えると、時代は、様々な分野でプロフェッショナルな人材を待望しているかのようである。1970年代後半に起きた環境変化は、企業に高い不確実性を課することになった。

このような不確実性に対し、組織の情報処理能力や戦略遂行能力を高めるために、機能の専門分化や細分化といった事態が起り、同時にこれらを有効に統合していくことが経営課題として重要となってきた。従って、プロフェッショナルを組織的にどう生かし、マネージできるかは、今後一般企業においても重要課題となる。

本論文では、このような問題意識から、すでにプロフェッショナルを組織して運営されている経営体の中で、多種類の伝統的な専門職を統合する病院組織を題材にとって分析している。

まず、プロフェッションの定義を検討し、日本のプロフェッションの態度特性を分析する。続いて、わが国の病院組織の環境や問題点を明らかにした後、ユニークな組織運営でかなりの成功を収めたと考えられる医療法人徳洲会病院の経営を、事例研究として、公表文献から検討を加える。

最後に、日本のプロフェッションの特性にフィットし、かつ高い組織成果をもたらすための、プロフェッショナル組織の有効なマネジメントのソフトウェアについて、仮説的な提言を行なっている。